

会 議 録

1. 件 名：長崎市まちなか賑わいづくり活動支援補助金交付審査会

2. 日 時：令和5年7月19日（水） 9：00～12：00

3. 場 所：長崎市役所 17階 中会議室

4. 出席者：（委員）片山会長、山下副会長、高嶋委員、塩田委員
（事務局）まちなか事業推進室 濱崎室長、平山、橋本

5. 議事次第

- (1)開会
- (2)審査委員紹介
- (3)事務局紹介
- (4)会長・副会長選出
- (5)会議の公開・非公開の取扱いについて
- (6)議題
 - ①まちなか賑わいづくり活動支援事業及び審査会について
 - ②審査会スケジュール及び審査方法について
 - ③まちなか賑わいづくり活動支援事業プレゼンテーション審査
- (7)その他
- (8)閉会

6. 議事概要

- ・会長・副会長選出について
会長には、片山委員が、副会長には、山下委員が選出された。
- ・会議の公開・非公開の取扱いについて
事務局より審査方法や採点に係る部分は非公開、応募者のプレゼンテーションについては、公開することを説明した。
審査委員から事務局の説明に対して特に意見なし。
- ・議題1 まちなか賑わいづくり活動支援事業及び審査会について
事務局より、まちなか賑わいづくり活動支援事業の概要及び審査会の役割等について説明した。
審査委員から事務局の説明に対して特に意見なし。
- ・議題2 審査会スケジュール及び審査方法について
事務局より審査会のスケジュール及び審査基準や審査方法（案）について説明した。
審査委員から事務局の説明に対して特に意見なし。
- ・議題3 まちなか賑わいづくり活動支援事業プレゼンテーション審査について
応募のあった4件の事業について、プレゼンテーションを行い、審査の結果4件が採択事業となった。
なお、質疑応答内における主な意見は以下のとおり。

【① 長崎伝統文化で観光推進『#まちなかの賑わい』】

発言者	質疑応答内容
審査委員	主な経費は 11 月のシンポジウムの開催経費ですか。
応募者	はい。これまでの取り組みでは、狭いエリアの人々にしか発信できていませんが、大規模なシンポジウムを開くことで、より多くの人々にメッセージを伝えたいと考えています。
審査委員	11 月のシンポジウムでは、基調講演や意見交換がプログラムされているようですが、どのような方に登壇していただく予定ですか。
応募者	基調講演には長崎学に精通された先生を、意見交換では長崎くんに精通された方、観光と経済のフィールドから 1 名ずつ、市民等、様々な分野の方々に登壇していただく予定です。 伝統芸能のアトラクションは、長崎くんの演し物そのものではなく、長崎くんに出演しているらっしゃる保存会等、音楽関係の方にお声掛けしようと考えています。
審査委員	シンポジウムはメルカつきまちで開催予定とのことですが、5 月、7 月の長崎くんち FILE はどのように実施されたのですか。
応募者	中央公民館の視聴覚室で開催しました。規模としては小さいものです。大規模のシンポジウムを行うことで、活動の周知に効果があるものと考えています。
審査委員	11 月のシンポジウムは内容をお聞きしたところ、長崎くんに精通された方向けに感じましたが、若い世代に向けた企画等は考えていらっしゃいますか。
応募者	若い世代に向けたアプローチを重視し、事業名に「#」を付けました。SNS を活用し、若い世代を取り込んで活動していきたいと考えています。
審査委員	長崎くんち FILE について、テーマの印象が固く感じたので、「長崎くんのこれから」や「長崎くんの未来」といった分かりやすい表現にした方が若い世代も参加しやすいと考えます。また、提案事業番号 4 番の 55HUBs 様のように若い世代で活動的な方を取り込んで、つながりを広げていくと良いと思います。
応募者	地元のイベントになりますが、桜馬場中学校からお声掛けがあって、ポスターと一緒に作成したりしていて、この事業においても、若い世代のみなさんと協力して何かできればと考えています。

【② 「路地文化に灯りを」プロジェクト】

審査委員	「もやい通り」のステッカーを制作し、店舗に配布したとのことですが、店舗の方々の反応はいかがでしたか。
応募者	店舗から嫌がられたことはありません。もやい通りの店舗が同じステッカーを貼ることで、統一感を出せたらと思い、店舗へ協力をお願いしています。
審査委員	ステッカーにより、「もやい」の精神が根付いた感触はありますか。
応募者	ステッカーだけではそこまで至っていないのが現状です。今回の提案事業をきっかけに、一緒に頑張ろうという雰囲気をつくり、コミュニティの強化につながればと考えています。
審査委員	弓張提灯の製作費 16,500 円というのは、妥当な価格なのでしょうか。
応募者	精霊流し等で使われている提灯で 15,800 円程度です。今回制作する提灯は、ブランド和紙を使い、頑丈にできているものなので、妥当な価格と考えています。
審査委員	消耗品費に LED ローソク電池と電池の 2 種類がありますが、どのような違いがあるのですか。
応募者	LED ローソク電池は電球のことで、電池は LED を点けるためのものです。
審査委員	期間が 9 月から 3 月で半年ありますが、電池は足りませんか。
応募者	足りる見込みです。弓張提灯は雨に弱いので、軒下や店舗内への設置を考えています。設置場所が明るい場合は LED を点けない等、長く使えるように工夫をしたいと思っています。
審査委員	提灯の盗難対策は考えていらっしゃいますか。
応募者	店舗同士のコミュニケーションを図りながら、設置時間を決めて見張り役をつける等、盗難されないように対策していきたいと考えています。
審査委員	マップについての意見ですが、もやい通りの紹介の中に、もやいの精神や、もやい通りのみなさんの思いが伝わるような内容にしていただければと思います。若い世代にももやい通りを知ってもらって、もやいの精神が広がっていくと良いですね。
応募者	ありがとうございます。

【③ YOGA ANDANTE】

審査委員	1つめの CHALLENGE THE NAGASAKI についてはステージや出店という事と思いますが、ある程度応募の見込みはありますか
応募者	これからというところもありますが、自分のまわりにも何かやってみたいという人もいるので、その人たちにもお声をかけようとは思っています。
審査委員	予算のことですが、まず賃金についてスタッフ賃金は当日だけですか。準備等々は大丈夫ですか。 また、旅費は県外のインストラクターを呼ぶとのことで、旅費だけで全体の4分の1です。ギネスもたくさんの人を呼んでという事になると思いますが、県外の人の名でも人は集まりそうですか。自分もヨガには詳しくないが、例えば繋がりがあれば地元のヨガインストラクターに依頼し、まちなかのヨガの人に声をかけて、生徒さんに来てもらうようにした方が、効果的ではないでしょうか。予算的にも少しもったいない気がします。
応募者	当日しか予算には組み込んでいないので、企画段階ではボランティアとして協力をお願いしています。 ヨガインストラクターについて、ストリートヨガは私が実施するのですが、県外から呼ばれる方たちはアクロバットヨガといってアクロバティックで、演目的な魅せるヨガを想定しています。長崎にはできる人がおらず、私が知っていて、伝手のある方たちに依頼し、体験型と魅せるヨガがあるとよりヨガを楽しんでもらえると思っています。
審査委員	CHALLENGE THE NAGASAKI について他の2つに比べると、どのような催しになるか見えづらいと思いました。応募する側も、何かやりたいと言われても、幅広過ぎて応募する側も応募しづらいかもしれません。将来〇〇になりたいと言われてもイベント内では実現できないので、ステージパフォーマンス部門や、出店部門とか、制限付きのほうが良さそうです。イベントの演目や出店につながるようなもので、ワンデイイベントのここに成り立つという具体的に想定されているものがあったら教えてください。
応募者	なかなかいないとは思いますが、宣言するだけでも私は良いと思っています。発表することで、自分のなかでやっていかなきゃという思いが芽生えると思いますし、例えば学生さんの意中の人に思いを伝えるでも良いと思います。演目としては、自分がやっている趣味の楽器の発表でもよいと思っています。確かに、「何でも」という書き方は幅が広すぎると思いますので、先ほど言われた通りステージイベントの中でできることと、出店でできることという2つのタイプで募集をかけようと思いました。
審査委員	ここからチャレンジについて。「以下想定されているチャレンジ」と計画書に書かれているのは、ご自身が想定されているものですか。
応募者	そうです。想定されるものを書いてみました。
審査委員	募集のときに、例があると良いかもしれません。タイトルだけだと少しわかりづらいくもしれません。
応募者	分かりました。
審査委員	出店される方は、テントでもなんでも自前ということですか。
応募者	はい。基本的に自前でさせていただきます。

【④ 長崎居留地「ひと・こと・もの」賑わい創生】

審査委員	ニュースでも拝見し、活動はよく存じています。SNS のフォロワーは今どれくらいいますか。
応募者	まだ 200 くらいです。
審査委員	以外に少ないのですね。SNS に頼っているのかと思いきや、予算をマップ 2 万部としっかり計算されていましたね。まちなかの人を活かすということで、なかなかない取り組みなので、引き続きがんばってください。
応募者	マップを多めに焼いて、ホテルや観光案内施設に置きたいと思っています。
審査委員	良いと思います。やはり紙ベースが必要という人も多いです。SNS に頼り、マップの印刷数を減らす人も多いですが、紙が必要という人も多いので、2 万部あるとよいと思います。
審査委員	HUBs Ishibashi については弊社ディレクターが取材し放送させていただきましたが、とても気になっていました。連携団体に今ありませんが、各テレビ局や長崎の人が良く読む雑誌編集社とつながっていくと、もっと多くの人に知ってもらえると思うので、1 つのいい手として良いと思いました。
応募者	ありがとうございます。ぜひ連携させていただきたいです。
審査委員	人の交流イベントということで、HUBs Ishibashi には人はどれくらい入るのですか。
応募者	キツキツで 15 人くらいです。
審査委員	こじんまりとしているんですね。その分密度はあげようという感じですね。
応募者	はい。密度は濃いです。
審査委員	人に特化したエリアマップということで大変面白いなと思いました。対応される方はボランティアということで、観光客が見られたらそれぞれ対応されると思いますが、案内するのは大変でないですか。みなさん大丈夫そうですか。
応募者	会いにいけるとなると、常にそこにいる方を掲載しないといけないと思うので、案内する方はお店を持たれている方が多いです。お店での対応は増えると思いますが、お店への誘客に繋がると考えれば、ウィンウィンにしていきたいなと思っています。
審査委員	マップに関して人から地域を知ったり、人をきっかけに中身を知るのはよいと思いました。 紙も必要なので準備されるということですが、逆に紙の場合、紙がなくなったら終わりとなったり、改定するとなっても費用がかかるため、どうしても初版版がなくなると終わりがちになりやすいと思います。紙マップをメインで使いつつ、デジタルでマップを拡散するプランも考えられていますか。
応募者	HP に掲載しダウンロードできるようにしたり、や SNS を活用し発信していきたいと思っています。クラウドファンディングをした時も YouTube でまずは活動している自分たちを好きになってもらおうと発信しました。YouTube など動画コンテンツも使いながら引き続き発信していきたいと思っています。また増刷するとなった場合は、その時、資金繰りをしたいと思っています。

